

I 高齢者教育

「飯塚市熟年者マナビ塾の取組」

飯塚市教育委員会中央公民館 主任 松尾一機

①事業名

飯塚市熟年者マナビ塾

②事業の目的

地域の熟年者（高齢者）の力を小学校の教育現場で生かすことにより、熟年者の生きがいや居場所を作り出すと共に、児童の健全育成、学校の活性化、特色ある学校づくりに資することを目的とする。

③事業の実施主体

飯塚市教育委員会生涯学習部中央公民館

④連携・協力機関・団体等

飯塚市教育委員会教育部学校教育課・飯塚市立22小学校

⑤事業予算

平成23年度予算額需用費として 254,000円 計上

内 訳	消耗品費	74,000円
	燃料費	70,000円
	修繕料	110,000円

⑥実施に至る経緯

少子高齢化や核家族化をはじめとする著しい社会変化の中で、地域コミュニティの希薄化、熟年者の孤立、児童の実体験不足、地域・家庭の教育力の低下、学校の閉鎖性や学校現場に過度の負担がかかっている現状など様々な課題に対して、教育行政の立場から対応するために、熟年者・児童・学校を結びつけた事業を新たに実施した。

⑦プログラム作成の視点

事業の関係者・対象者（①事業に参加する熟年者、②熟年者と交流する児童、③活動拠点を設置する学校）にそれぞれ利点があることと、学校の余裕教室を開放し活動拠点を設置するため、学校の負担が増加せず、将来的には負担を軽減できるような取り組みとなることを念頭に置きプログラムを作成した。

⑧事業の内容

週に一回、平日の午前中に小学校の余裕教室に地元の熟年者が登校し、学校の授業時間に合わせて、学校支援や自主学習を行う。

基本的な流れについては以下の【モデルケース】のとおりである。

【モデルケース】

朝の教室清掃



一時限目（8:50～）脳活性化や身体機能維持のプログラムを実践（自主学習）



二時限目（9:40～）塾生同士が特技を教えあい、趣味教養を深める学習（自主学習）



三時限目（10:45～）学校の依頼により学校支援ボランティアに従事（学校支援）



帰りの清掃

※学校支援の依頼状況などにより、時間割や活動内容は柔軟に変更される。

※学校支援ボランティア活動を最優先とし、一時限目・二時限目の自主学習の時間に、学校支援の準備や事前学習を行うこともある。

※活動の内容は【学校支援ボランティア】と【自主学習】の2種類があり、内容については以下のとおりである。

【学校支援ボランティア】

「教育活動支援」

→遠足の安全管理や交通指導・体力測定記録員・朝自習の採点・切り絵指導
・九九の聞き取り・裁縫指導・郷土の歴史や昔の暮らしについての語りなど



「環境整備支援」

→花壇の手入れ・遊具のさび落とし・校内清掃・植木の選定など



【自主学習】

「頭と体の機能を維持する学習」

→百マス計算・朗唱・漢字の書き取り・健康リズム体操・ストレッチなど



「趣味・教養を広げる学習」

→絵手紙づくり・切り絵づくり・折り紙・学校支援の準備など



⑨事業の成果

事業の対象者である【熟年者】・【児童】・【学校】それぞれに利点があり、下記のような成果を上げている。

【熟年者】は、新たな仲間や活動目標を手に入れると共に、児童との交流により、生きがいと必要とされている充実感を得ている。

【児童】は、生活規範や知恵など「生きる力」を熟年者との交流で身につけ、成長している。

【学校】は、熟年者を学校支援ボランティアとして活用することにより、授業の効率や教育効果があがると共に、不審者対策など安全管理面でも向上している。

⑩今後の課題

全市的に取り組みを始めて5年が経過し、参加者の固定化・高齢化が見られ、参加者数も減少傾向を示している。また、飯塚市では小・中一貫教育構想を掲げているので、小学校だけの活動ではなく、中学校への取り組みを推進する必要がある。

⑪問い合わせ先

飯塚市教育委員会 生涯学習部 中央公民館

〒820-0041

飯塚市飯塚14番67号

TEL 0948-22-3274・FAX 0948-22-3609